

NY マーケットレポート (2017年2月1日)

NY 市場では、序盤に発表された米 ADP 雇用統計が昨年 6 月以来の大幅な伸びとなったことや、ISM 製造業景況指数が 2014 年 11 月以来 2 年 2 ヶ月ぶりの高水準となったことを受けて、ドルが主要通貨に対して上昇した。その後は、上昇していた株価がマイナス圏まで下落する動きとなったことや、FOMC の結果発表を控えた調整の動きも加わり、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。そして、注目された FOMC では、予想通り追加利上げの見送りが決定されたが、一部で追加利上げを主張するメンバーがいるとの見方もあったなかで、声明では全会一致の決定だったことが明らかになり、ドル売りが優勢となった。

しかし、昨年 12 月の利上げの効果、トランプ政権の経済政策を見極める必要性から、想定内だったとの見方もあり、値を戻す動きも見られた。

その後は、米債券利回りの一段の低下や、株価が上値の重い動きとなったこともあり、ドル円・クロス円は軟調な動きが続いた。

2017年2月1日(水)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	113.57	113.63	112.64
EUR/JPY	122.45	122.45	121.62
GBP/JPY	142.79	142.84	141.68
AUD/JPY	85.98	85.98	85.35
EUR/USD	1.0783	1.0806	1.0775

LONDON	高値	安値
USD/JPY	113.63	113.22
EUR/JPY	122.51	122.20
GBP/JPY	143.31	142.54
AUD/JPY	86.09	85.89
EUR/USD	1.0808	1.0780

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	113.19	113.95	112.84
EUR/JPY	121.91	122.45	121.74
GBP/JPY	143.29	144.14	143.03
AUD/JPY	85.85	86.10	85.65
NZD/JPY	82.37	82.67	82.12
EUR/USD	1.0772	1.0794	1.0731
AUD/USD	0.7585	0.7595	0.7551

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	19890.94	+26.85
S&P500	2279.55	+0.68
NASDAQ	5642.65	+27.87
日経225 (CME)	19155	+175
トロント総合	15402.39	+16.43
ボルサ指数	47009.51	+8.45
ボバスパ指数	64836.13	+165.34

2/2 経済指標スケジュール

08:50	【日本】1月マネタリーベース
09:30	【オーストラリア】12月貿易収支
09:30	【オーストラリア】12月住宅建設許可件数
14:00	【日本】1月消費者態度指数
17:15	【スイス】12月実質小売売上高
18:00	【欧州】ECB 経済報告
18:30	【英国】1月建設業PMI
19:00	【欧州】12月生産者物価指数
20:00	【南アフリカ】電力消費・発電
21:00	【英国】政策金利発表
21:00	【英国】英中銀議事録
21:00	【英国】英中銀四半期インフレ報告
21:30	【米国】1月チャレンジャー人員削減数
22:00	【シンガポール】1月電子産業指数
22:00	【シンガポール】1月購買部景気指数
22:30	【米国】新規失業保険申請件数
22:30	【米国】失業保険継続受給者数
22:30	【米国】4Q非農業部門労働生産性
22:30	【米国】4Q単位労働費用
23:00	【メキシコ】景気先行指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1208.30	-3.10
NY 原油	53.88	+1.07
CME コーン	368.25	+8.50
CBOT 大豆	1036.75	+12.25

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.216%	1.204%
3年債	1.475%	1.464%
5年債	1.933%	1.915%
7年債	2.267%	2.255%
10年債	2.475%	2.455%
30年債	3.081%	3.062%

ドイツ10年債	0.468%	0.436%
英国10年債	1.449%	1.417%

2/2 主要会議・講演・その他予定

NY 市場レポート

21 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

米 MBA 住宅ローン申請指数 (前週比) -3.2% (前回 4.0%)



出所 : Bloomberg

指標結果データ

◀ MBA 住宅ローン申請指数 ▶

	1/27	1/20	1/13	1/6	12/30	前年同期
申請指数	-3.2	4.0	0.8	5.8	0.1	-15.9
購入	-5.6	6.0	-5.2	6.1	-1.4	2.3
借換え	-1.4	0.2	6.8	4.4	1.7	-30.6
固定金利	-3.9	3.9	0.6	5.7	1.3	-14.9
変動金利	8.8	5.0	4.0	7.2	-16.3	-29.8

固定金利 30 年	4.39	4.35	4.27	4.32	4.39
固定金利 15 年	3.61	3.57	3.51	3.56	3.64

22 : 15

◀ 経済指標の結果 ▶

1 月米 ADP 雇用統計 24.6 万人 (予想 16.8 万人・前回 15.1 万人)
 前回発表の 15.3 万人から 15.1 万人に修正



出所：Bloomberg

1月の米ADP雇用者数は、+24.6万人と市場予想を上回る結果となり、昨年6月以来の大幅な伸びとなった。サービスや製造業の雇用が拡大したことが押し上げ要因となった。製造業や建設業を含む財生産部門の雇用は+4.6万人となり、建設業は+2.5万人と4ヵ月ぶりの大幅な伸び、製造業は+1.5万人と2014年12月以降で最大の伸びとなった。また、サービス業は+20.1万人となった。従業員が500人以上の大企業の雇用者数は+8.3万人、50-499人の中堅企業では+10.2万人、49人以下の小企業では+6.2万人と昨年7月以来の大幅な伸びとなった。

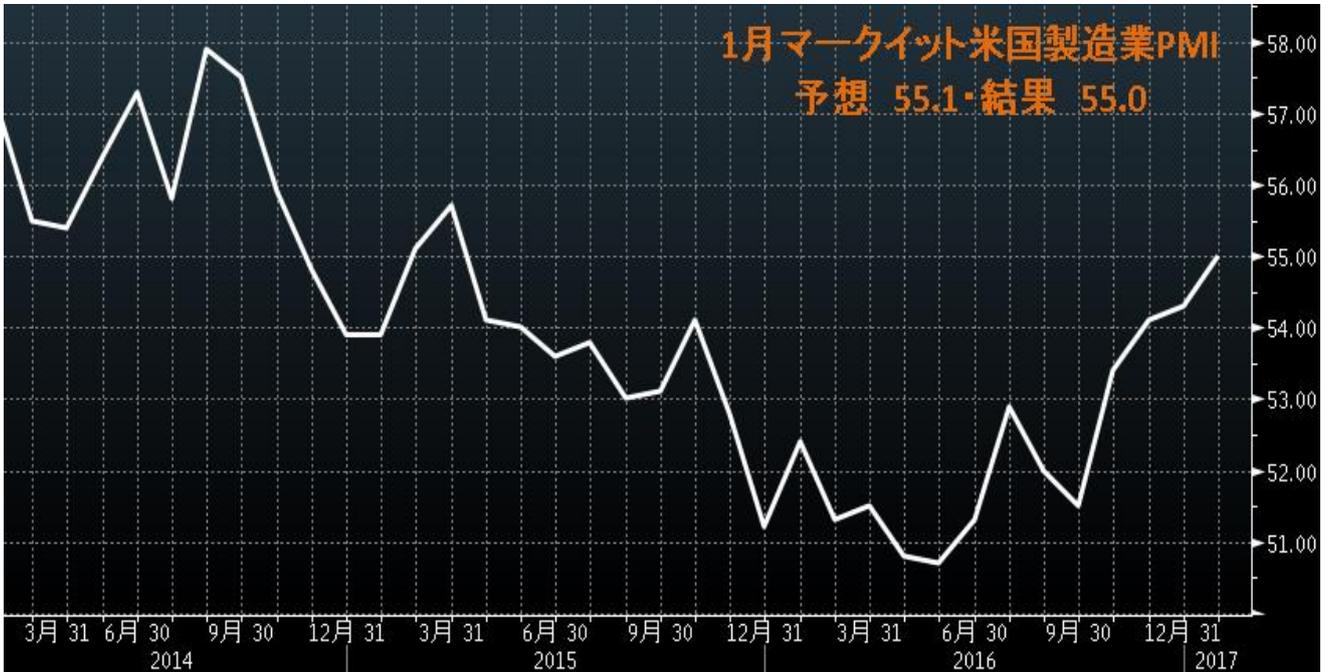


出所：Net Dania

23 : 45

◀ 経済指標の結果 ▶

1月マークイット米国製造業 PMI 55.0 (予想 55.1・前回 55.1)



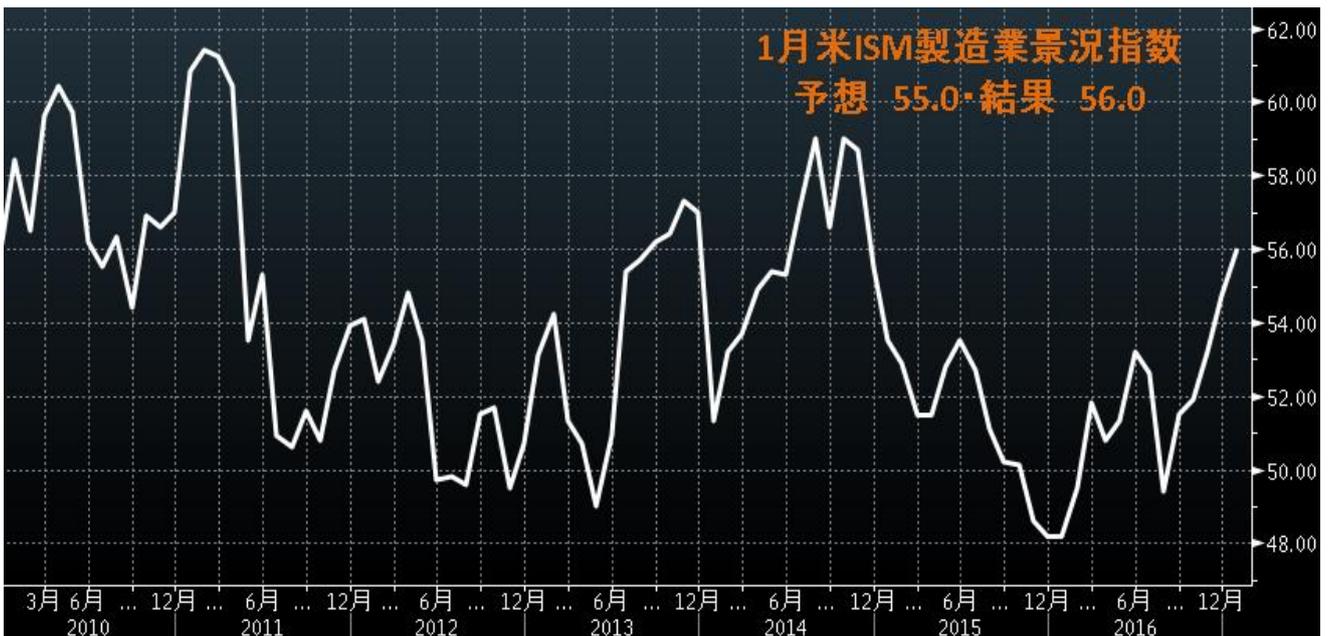
出所 : Bloomberg

0 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

1月米ISM製造業景況指数 56.0 (予想 55.0・前回 54.5)

前回発表の54.7から54.5に修正



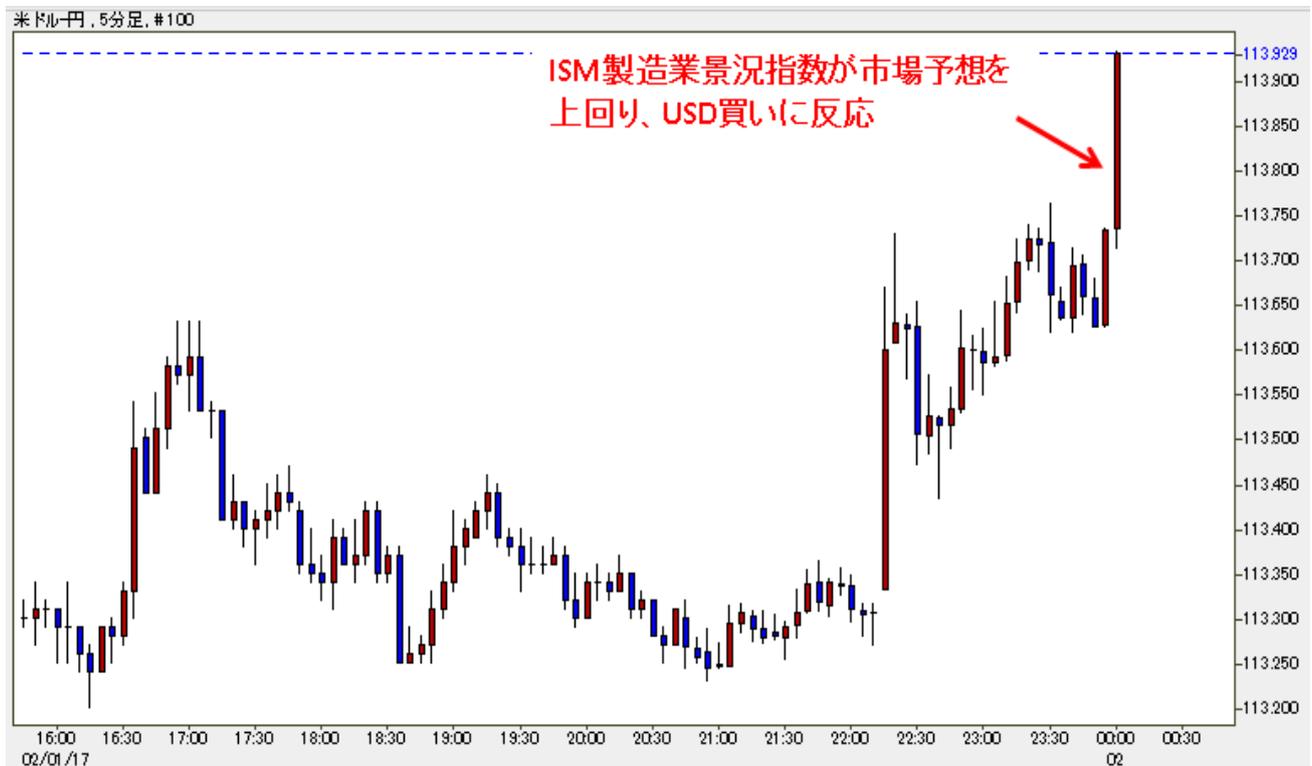
出所 : Bloomberg

経済指標データ

◀米 ISM 製造業景況指数▶

	1月	12月	11月	10月	9月	8月
景気	56.0	54.5	53.5	52.0	51.7	49.4
価格	69.0	65.5	54.5	54.5	53.0	53.0
生産	61.4	59.4	55.6	54.4	53.3	49.3
新規受注	60.4	60.3	54.8	54.1	55.0	48.9
受注残	49.5	49.0	49.0	45.5	49.5	45.5
入荷遅延	53.6	53.0	55.5	52.2	50.8	51.2
在庫	48.5	47.0	49.0	47.5	49.5	49.0
雇用	56.1	52.8	52.5	51.8	50.0	48.7

1月の米 ISM 製造業景況指数は、市場予想を上回る 56.0 と前月から 1.5 ポイント上昇となり、2014 年 11 月以来 2 年 2 ヶ月ぶりの高水準となった。製造業の景気拡大・縮小の判断基準となる 50 を 5 ヶ月連続で上回った。生産が 61.4 (前月 59.4)、新規受注が 60.4 (60.3)、雇用が 56.1 (52.8)、仕入れ価格が 69.0 (65.5)、在庫が 48.5 (47.0) といずれも前月から上昇した。1 月は 18 業種中 12 業種が景況拡大を報告、縮小は 5 業種だった。



出所：Net Dania

0:00

◀ 経済指標の結果 ▶

12月米建設支出 (前月比) -0.2% (予想 0.2%・前回 0.9%)

1月米自動車販売

フィアット・クライスラーは-11.0% (予想-14.0%)
 フォードは-0.7% (予想-2.8%)
 GMは-3.8% (予想-2.4%)
 トヨタは-11.3% (予想-2.0%)
 日産は+6.2% (予想-1.3%)
 ホンダは+5.9% (予想 4.0%)

3:00

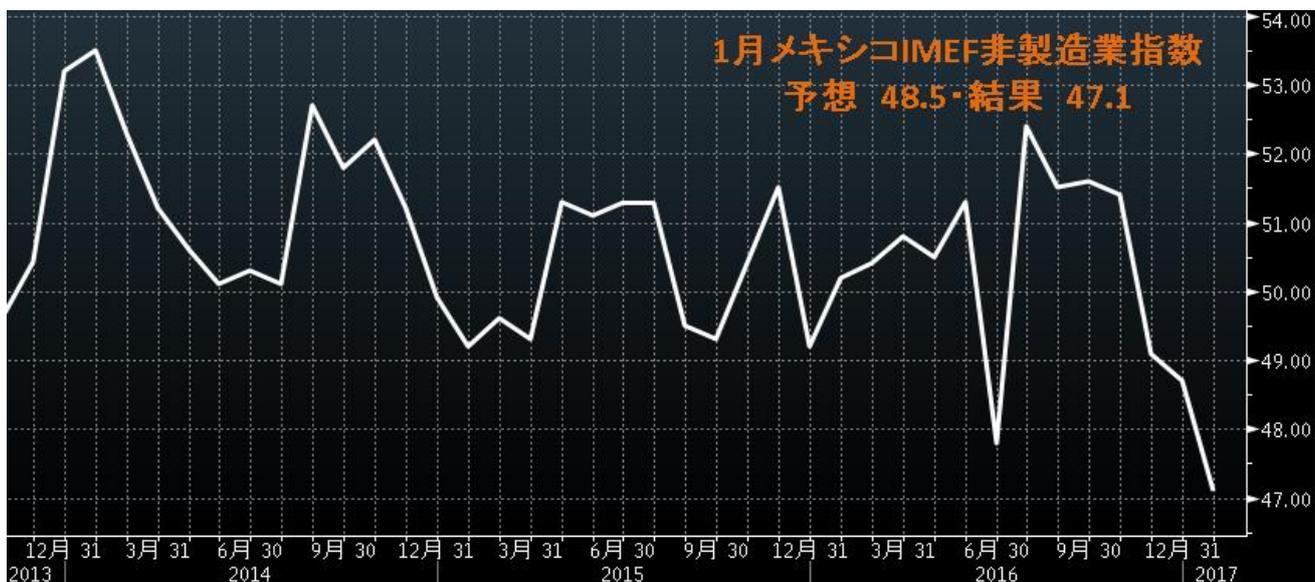
◀ 経済指標の結果 ▶

1月メキシコ IMEF 製造業指数 49.0 (予想 47.1・前回 48.6)
 前回発表の 47.7 から 48.6 に修正

1月メキシコ IMEF 非製造業指数 47.1 (予想 48.5・前回 48.5)
 前回発表の 48.7 から 48.5 に修正



出所: Bloomberg



出所: Bloomberg

4 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

米 FOMC 政策金利 0.50%-0.75% (予想 0.50%-0.75%・前回 0.50%-0.75%)

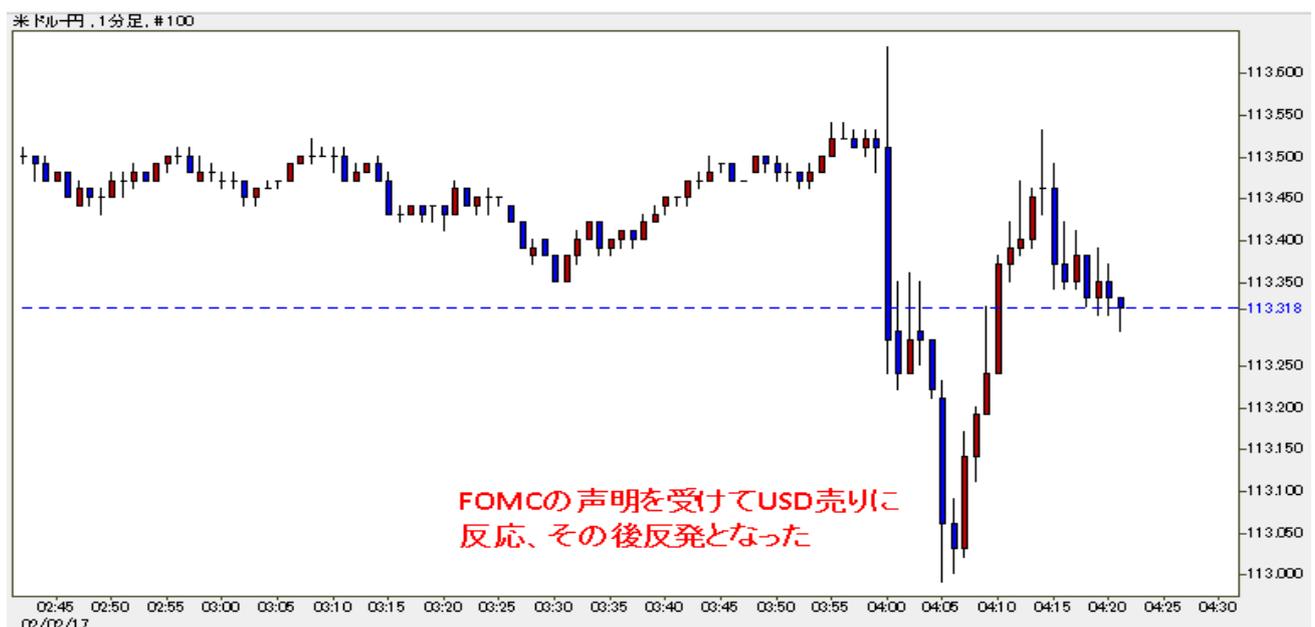


出所 : Bloomberg

4 : 00

FOMC 声明

- ・「FF 金利誘導目標を 0.50-0.75%で維持」
- ・「消費者と企業のセンチメントは改善」
- ・「決定は全会一致」
- ・「緩やかな成長の中で労働市場の強化が続いている」
- ・「家計の支出は緩やかな増加を継続」
- ・「インフレは最近上昇したが、まだ 2%を下回る」



出所 : Net Dania

◀ NY 金市場 ▶

NY 金は、中心限月が前日比 3.10 ドル安の 1 オンス=1208.30 ドルで取引を終了した

NY 金は、ドルが主要通貨に対して上昇したため、ドルの代替資産とされる金の売りが先行した。その後は、FOMC が追加利上げの見送りを決め、ドルが下落したことから買い戻しも見られた。

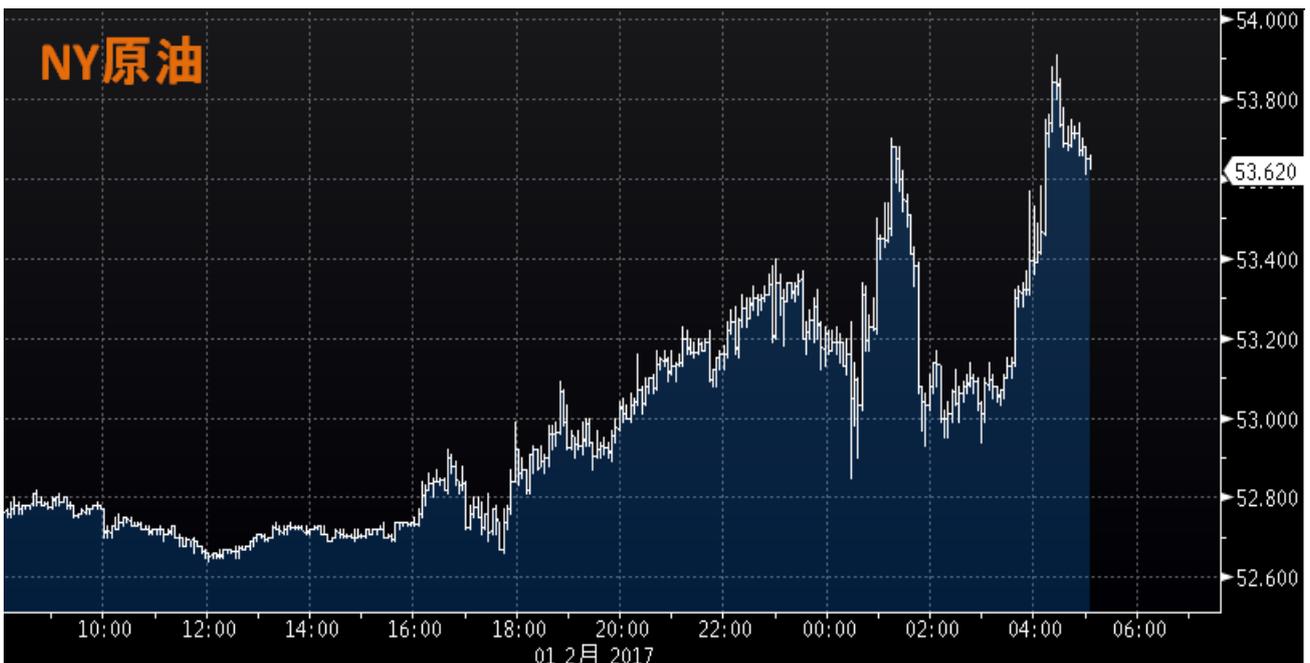


出所：Bloomberg

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、中心限月が前日比 1.07 ドル高の 1 バレル=53.88 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、OPEC 加盟国と非加盟国の協調減産により世界の需給が改善するとの期待が根強く、買いが優勢となった。ただ、米石油在庫統計で原油とガソリンの在庫が市場の予想以上に増えたことから、売られる場面もあった。



出所：Bloomberg

《米株式市場》

米株式市場は、IT 大手の決算が市場予想を上回る結果となったことが好感されたことや、最近の株価下落で値頃感の出た銘柄を買う動きも見られ、主要株価は序盤から堅調な動きとなった。米経済指標の改善で早期の追加利上げが意識されたことなどから一時マイナス圏まで下落する場面もあった。ただ、その後は底固い動きが続いた。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、米経済指標が市場予想を上回る結果となったことを受けて、ドルが主要通貨に対して上昇した。その後、FOMCで追加利上げの見送りが決定したが、ドル売り・円買いが優勢となり、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。その後は値を戻す動きとなったものの、上値の重い動きとなった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。